

福井藩の年中行事「^{うまおど}馬威し」

新年 1 月、左義長の関連行事です。「下威し」の後、小正月、14 日に本番の「本威し」がありました。

「本威し」では、まず、乗馬した武士が、福井城の南西、桜門から城外に登場します（現在の「片町入口」交差点付近）。そして、本町を直進し（中央大通り）、京町で左折（「九十九橋北」交差点付近）、九十九橋の北口まで駆け抜けていきます。

しかし、その馬の前には、町人・百姓が立ちはだかりました。この日ばかりは無礼講、武士が乗る「馬」を「威し」て進路を妨害するのです。

武士は、培った馬術を駆使して完走を目指し、町人・百姓は、それを食い止めようと体を張ります。こう



して、両者は激しい攻防を繰りひろげ、正月の城下を大いに賑わせました。

天保 15 年（1844）の参勤交代は、帰国の途のため、この「馬威し」とは逆方向になりますが、九十九橋を渡って本町をとおり、桜門から城内に入っています。この時の春嶽もまた、「馬威し」に負けず劣らず、城下を賑わせたことでしょう。